

各 位

会 社 名 株式会社エフティコミュニケーションズ  
 代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 畔柳 誠  
 (JASDAQ・コード番号: 2763)  
 問い合わせ先 広報・IR 室長 中井 唯雄  
 T E L 03 (5847) 2777 (代表)

## 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

監査法人の指摘を受け、特別損失をすることとなり、その概要をお知らせするとともに、平成 19 年 3 月 8 日に公表いたしました業績予想が下記のとおり修正されますことをお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生及びその内容

3 月 8 日に業績下方修正を出した段階においては、減損処理の適用は完了したものの認識でございましたが、当社子会社フレクソルの事業でありました ASP サービスソフトウェアの営業資産 13 百万円分を償却すべき、と監査法人より指摘を受けました。償却いたしますと、当該子会社の当社持分の半分を上回る持分評価損が発生することとなり、当該子会社株式 51 百万円分を特別損失として計上し、さらに、当該子会社の営業に供されております台東区などの自社物件も減損処理の対象となり、1 億 42 百万を特別損失として計上することとなりました。また、先般行いました当社自身の事業所の統廃合に関わります特別損失計上の必要性を指摘されたことにより 54 百万計上、3 月 8 日以降発生いたしました当社自身に関わります商品評価損を 36 百万計上することとなりました。当社といたしましては、当該営業資産は資産価値があるものという判断で、決算発表直前まで監査法人に対して当社見解を主張いたしました。最終的には監査法人の指摘に従うこととし、今回修正を発表するにいたしました。減損対象となりました台東区自社物件は地価が高かった時期に購入したものであること、繰り延べ税資産の取り崩しを行ったことにより、減損幅も大きな額となったものであります。

#### 2. 通期個別業績予想の修正理由

上記 1. の理由に加え、事業税に関わる繰り延べ税資産も全額取り崩すこととなり、1 億 38 百万円計上いたします。

#### 3. 通期連結業績予想の修正理由

上記 1. および 2. の理由により、連結業績も修正されるものであります。

#### 4. 平成 19 年 3 月期の業績予想の修正について

上記の結果、平成 19 年 3 月期の業績予想を次のとおり修正いたします。

##### (1) 平成 19 年 3 月期 個別業績予想の修正等

通期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	14,800	△650	△1,082
今回修正予想 (B)	14,935	△749	△1,601
増減額 (B-A)	135	△99	△519
増減率 (%)	0.9%	△15.2%	△48.0%

(2) 平成19年3月期 連結業績予想の修正等

通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	16,500	△590	△1,122
今回修正予想(B)	16,763	△644	△1,580
増減額(B-A)	263	△54	△458
増減率(%)	1.6%	△9.2%	△40.8%

(ご参考) 特別損失及び繰り延べ税資産の概要

①	子会社ソフトウェア資産の損失処理	13百万円
②	当社子会社株式の損失処理	51百万円
③	当社自社保有不動産損失処理	142百万円
④	当社事業所閉鎖に伴う追加損失処理	54百万円
⑤	当社商品評価損の追加処理	36百万円
⑥	当社繰り延べ税資産の取り崩し	138百万円

以上

(注) 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える可能性がある不確実な仮定を前提にしております。実際の業績は今後様々な要因によって大きく変化する可能性があります。